

平成22年度第3回小牧市立図書館選書委員会会議録

1 開催日時 平成23年2月25日（金）
午後3時～午後5時

2 開催場所 小牧市立図書館 1階 集会室

3 出席者 会長 大間知 千鶴子
副会長 多田 昭子
委員 木村 芳博
〃 百瀬 正昭
〃 森 勝昭
欠席者 〃 中川 裕子
事務局 船橋館長
山田主幹
永井補佐
佐藤係長
林主査

4 議題 (1) 選書について
(2) その他について

5 会議資料 選書資料

6 議事内容

(1) 選書について

選書資料1 『岡本太郎』について

【事務局】 可が2、不可が2、保留が1ですので、ご協議をお願いします。

【委員】 不可にした。類書がたくさんあるし、亡くなっているのも特に新しい作品もないので、購入しなくてもいいと思った。

【委員】 私も同じ意見ですが、生誕100年記念だと書いてある。

【委員】 「好かれる芸術なんて本物じゃない」というキャッチフレーズが面白いと思ったが、類書がたくさんあるので保留にした。

【委員】 岡本太郎の作品が海外で見つかったというのが、新しく収録されている位か。本としては、たくさん出ている。

【委員】 1979年発行のものの所蔵はない。

【委員】 どんなのが芸術って話になるが、びっくりはする。

【委員】 岡本太郎といえば「太陽の塔」で、余りにも有名で誰でも知っていて今さらでもないが、だいたいどんな様な感じに描くのかはわかる。

【委員】 前に出ている本を見られるといいが所蔵がない。今では見られない貴重な作品と書いてある。

【委員】 平凡社から出しているなので、信頼はできる。

【委員】 自分がファンだったら購入して欲しいと思う。

【委員】 犬山の方にも作品がある。露天にあるので色が落ちている。

【事務局】 事務局判断とします。

選書資料2 『雲岡石窟／仏宇宙』について

【事務局】 購入可多数で購入とします。

選書資料3 『西郷信綱著作集 善9巻』について

【事務局】 不可が1、保留が4ですので、ご協議をお願いします。

【委員】 個人的な全集はないかもしれないが、類書がたくさんある。

【委員】 この人の名前を知ったのが昭和24・5年だが、岩波の学術選書か岩波新書に出ていた。国文学には、あまり関心がなくて西郷さんのものはあまり読んでないが、この学者がすごい学者だという事を最近認識した。しかし、これを小牧の図書館で購入しても、利用度ということになれば、ほとんど死蔵ではないか。

【委員】 名前も知らなかった。

【委員】 購入という人がいないので、購入不可でいいと思う。

【委員】 利用されない。

【委員】 読まれないものを購入しても仕方がない。

【事務局】 購入不可とします。

選書資料4 『表現者・堀口捨巳』について

【事務局】 購入可多数で購入とします。

選書資料5 『真宗重宝 英 全9巻』について

【事務局】 購入不可多数で購入しません。

選書資料6 『防災学原論』について

【事務局】 購入可多数で購入とします。

選書資料7 『西洋古典学事典』について

【事務局】 可が2 不可が2、保留が1ですので、ご協議をお願いします。

【委員】 パンフレットを見ると字が細かくて不親切な資料だと思って見た。

【委員】 細かくて見づらい。

【委員】 内容は、虫めがねがいる位細かい。

【委員】 私は、読みたい。

【委員】 可にしたが、本当は迷った。内容が「第8回パピルス賞受賞」と書いてあったし、出版者が京都大学でしたのでいいのかと思って。でも読んでみようとは思わない。不可にしてもよい。

【委員】 西洋古典とは言っているが、結局ギリシャとローマのこと。

【委員】 これを買うなら、ほかに買わなければいけないものがあるような気がする。なければ別だが蔵書もある。

【委員】 特別に、どうという本でもない。

【委員】 わからないから保留にした。

【事務局】 購入不可とします。

選書資料8 『世界盲人百科事典』について

【事務局】 購入可多数で購入とします。

選書資料9 『日本社会民俗辞典 全4巻』について

【事務局】 可が2、不可が1、保留2ですので、ご協議をお願いします。

【委員】 蔵書も多いし、意見が分かれる。

【委員】 「日本民俗大辞典」が上巻下巻とある。初めは1999年。今回図版を鮮やかにしたと書いてあるので、少しひかれた。全部がカラーではないと思う。今の写真の技術はすごい。ぼんやりしているものもきれいになるので、見やすくなっているのではと思った。同じようなものが十数年前にあるが、今回購入してもいいかと思った。

【委員】 タイトルに社会という字がついているのが特徴。

【委員】 見ていると日本の「風俗」みたいなもので、偏った思想とかではない。

【委員】 民俗学だが、柳田国男みたいな偏りはない。

【委員】 出版社は、日本図書センターになっている。

【委員】 北海道から九州までの古典文化・文芸が対象で、面白そうな感じがした。

【委員】 『西洋古典学事典』とは対照的な本。定価は60,900円。

【委員】 少し高い。

【委員】 余りにも蔵書があるので、いらなと思った。

図書館が、新しくなればまた考えも変わる。

【事務局】 事務局判断とします。

選書資料10 『レアメタル便覧』について

【事務局】 購入不可多数で購入しません。